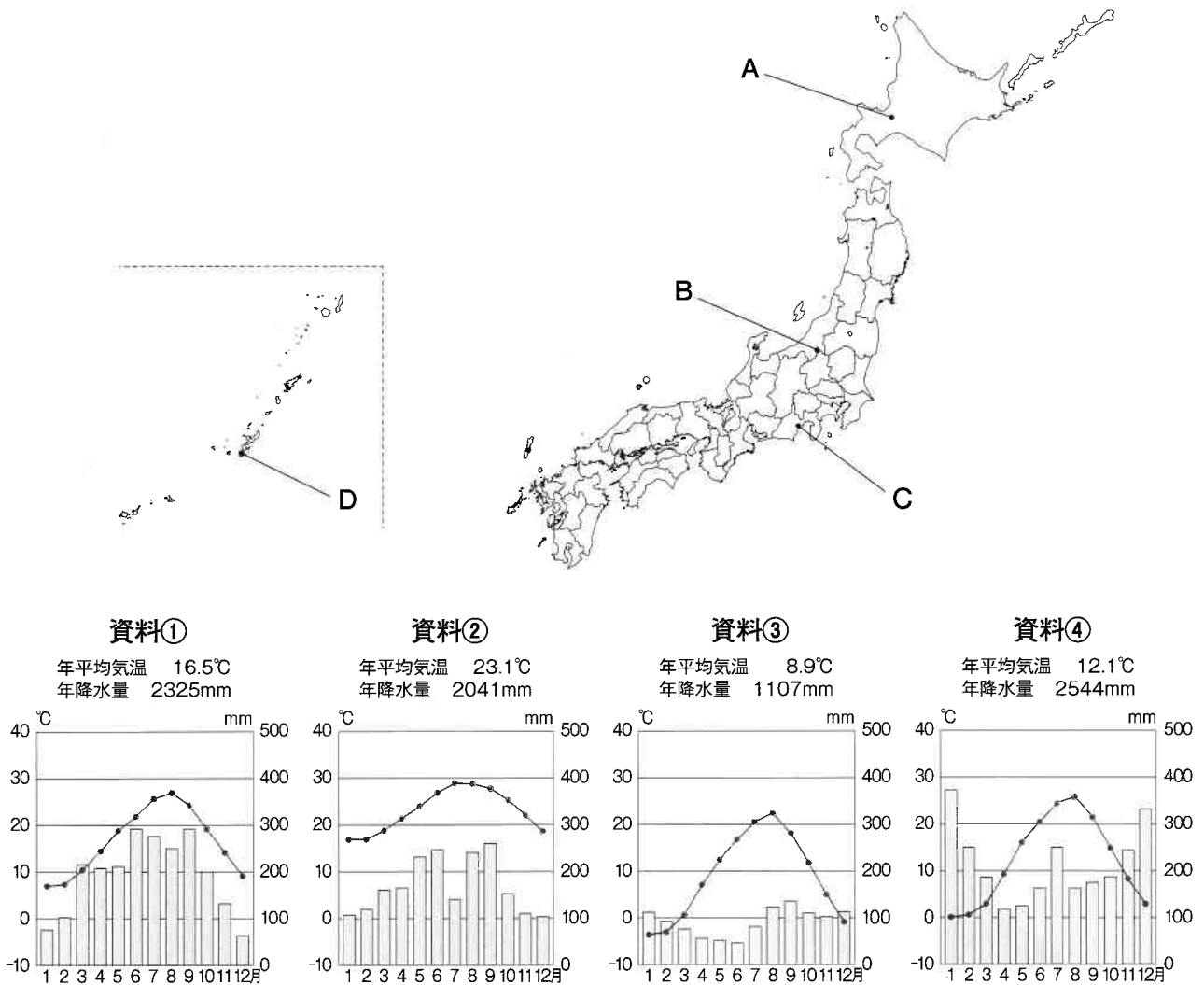


1

次の地図と各資料を見て、あとの問いに答えなさい。地図中のA～Dは、それぞれ南魚沼市、那覇市、静岡市、札幌市のいずれかを示しています。



(1) 資料①～④は地図中A～Dの都市の降水量（棒グラフ）と気温（折れ線グラフ）を示したものです。資料①～④のなかから読み取れる内容と、それを示す都市が正しいものを、次のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料①から、一年を通して気温が高く、最も寒い月でも10度を下回らないことに加え、他に比べて年降水量が最も多いことがわかる。この資料①は地図Dの都市を示している。

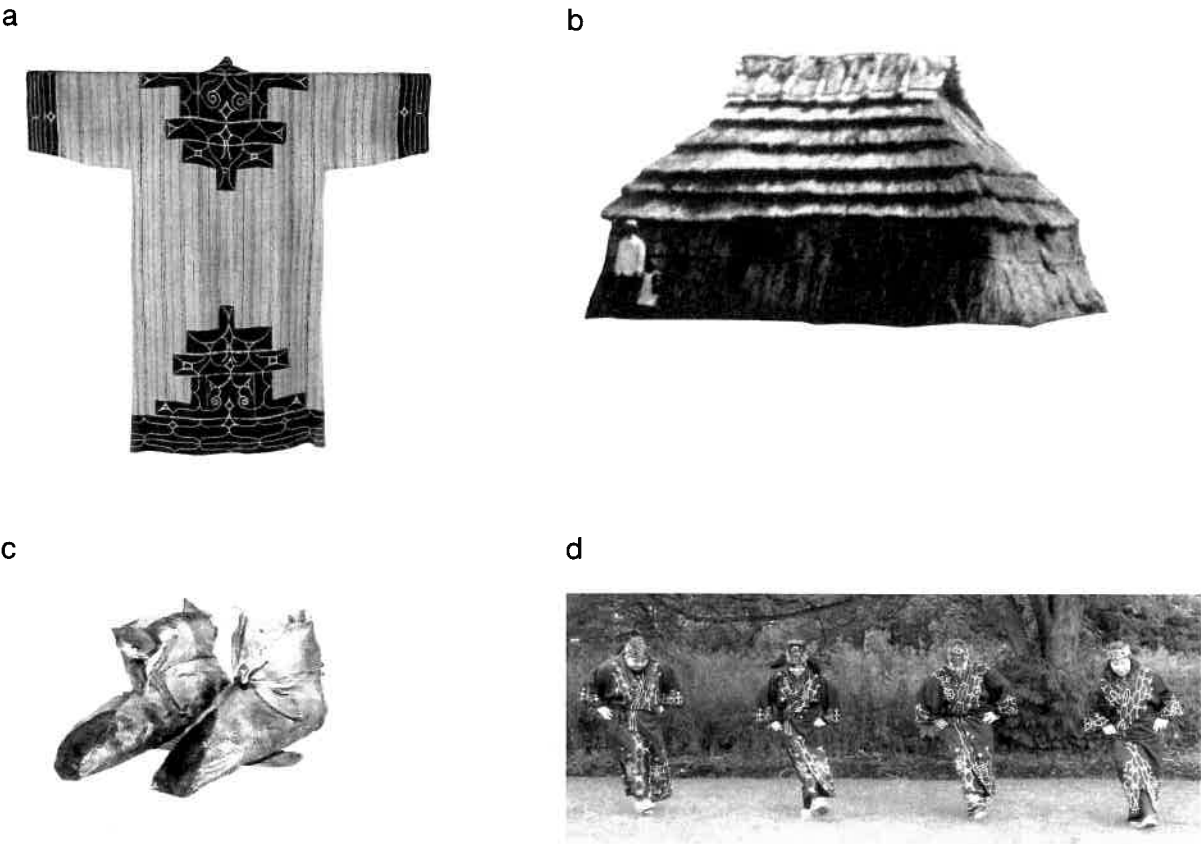
イ 資料②から、一年を通して月平均気温が10度を下回ることがなく、7月をのぞいて5月から9月まで毎月200mmをこえる降水量があることがわかる。この資料②は地図Bの都市を示している。

ウ 資料③から、一年のうち10度を下回る月が半分以上あり、他に比べて年降水量が最も少ないことがわかる。この資料③は地図Aの都市を示している。

エ 資料④から、1月と8月の平均気温の差が10度以下であり、冬に吹く季節風の^{えいふう}影響を受けるため冬の降水量が多いことがわかる。この資料④は地図Cの都市を示している。

(2) 次の資料⑤のa～dは、地図中Aの都市のある都道府県で、昔から生活していた先住民族のくらしを示したものです。この先住民族について述べた文として正しいものを、次のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

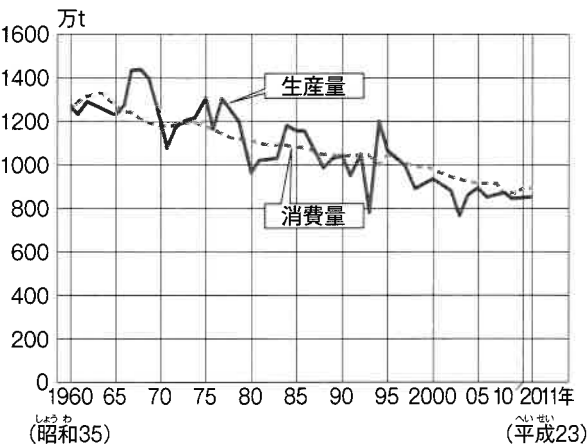
資料⑤



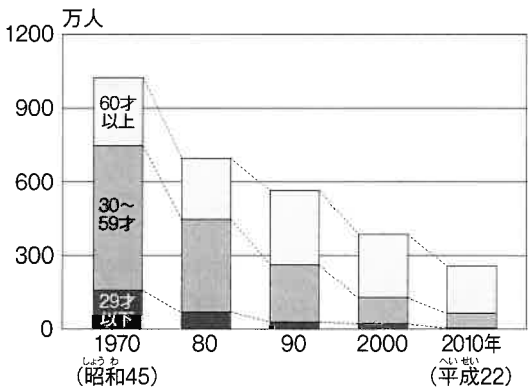
- ア 資料⑤のaは、この民族の伝統的な衣服であり、自然のめぐみに感謝する気持ちをカムイ（神）に伝える儀式で用いられる。
- イ 資料⑤のbは、この民族が身近にある木や草でつくった家であり、合掌造りとよばれ、夏の暑さや台風にそなえた工夫がされている。
- ウ 資料⑤のcは、鮭の皮を素材として用いたくつであり、この民族は鮭を他の地域の産物と交換するなどして、すてるところなく利用していた。
- エ 資料⑤のdは、この民族のエイサーという伝統的なおどりの様子であり、太鼓を用いて紅型とよばれる独特な染物を着ておどるものである。

(3) 地図中Bの都市のある都道府県では米づくりが盛んです。この米づくりについて、次の資料⑥～⑧を見て、あとのア～エから正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

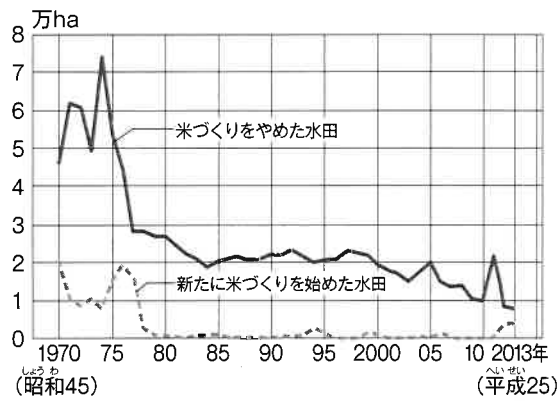
資料⑥ 米の生産量と消費量の変化



資料⑦ 農業で働く人数の変化

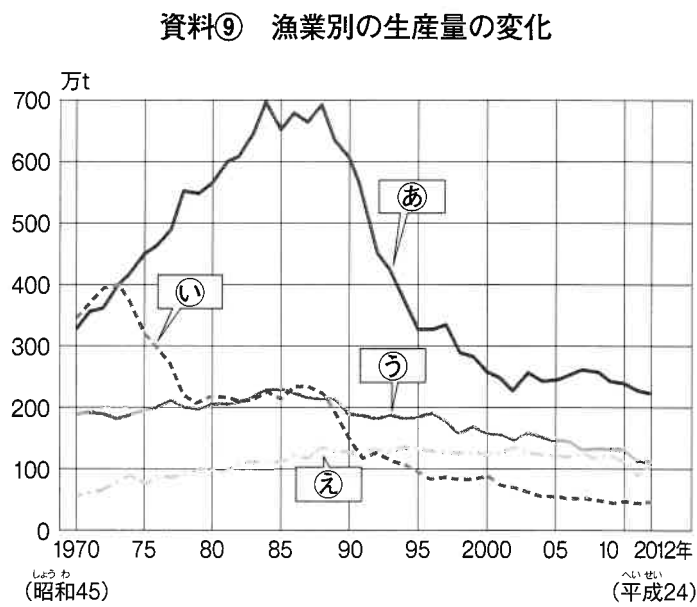


資料⑧ 米づくりをやめた水田と新たに始めた水田の面積の変化



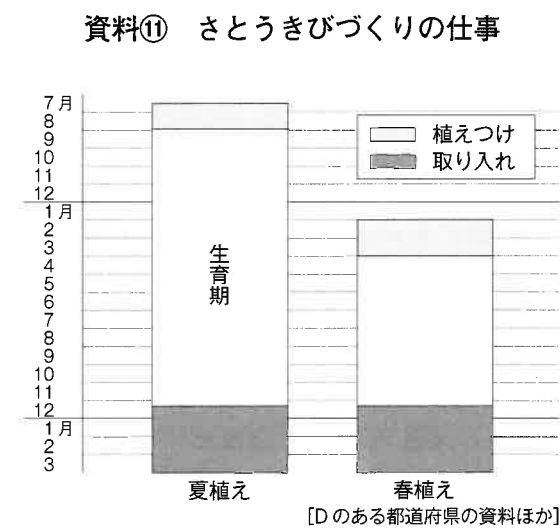
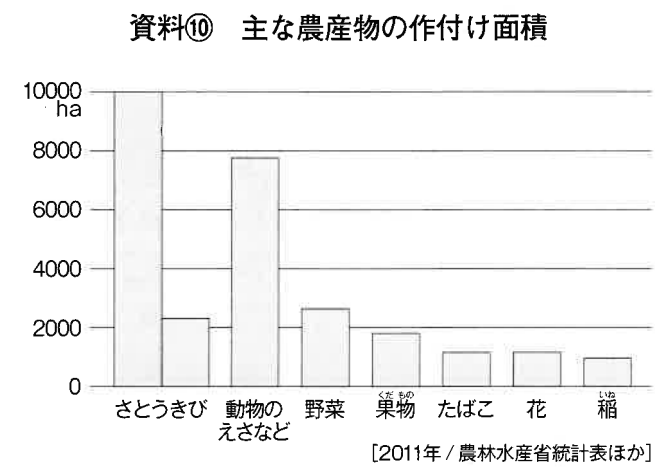
- ア 資料⑥を見ると、2000年に入ってから、米の生産量よりも消費量が上回っていることから、全体として米の消費量は増加する傾向にある。
- イ 資料⑦を見ると、1970年から2010年にかけて、60才以上の人数は増え続けているが、59才以下的人数は減り続けている。
- ウ 資料⑥と資料⑧から、1970年と1975年をくらべてみると、米づくりをやめた水田の面積が増えているにもかかわらず、同じ時期の米の生産量は増えている。
- エ 資料⑥と資料⑦を見ると、2000年ごろから米の消費量は急激に伸びており、農業で働く人数が少なくなっていることから、生産が追いつかないことが課題である。

(4) 地図中Cの都市のある都道府県では、遠洋漁業が盛んであり、かつおの水揚げ量が日本一です。次の資料⑨のグラフ㉔～㉞は、沿岸漁業、沖合漁業、遠洋漁業、養殖業のいずれかの漁業を示しています。このうち、遠洋漁業について述べた文として正しいものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



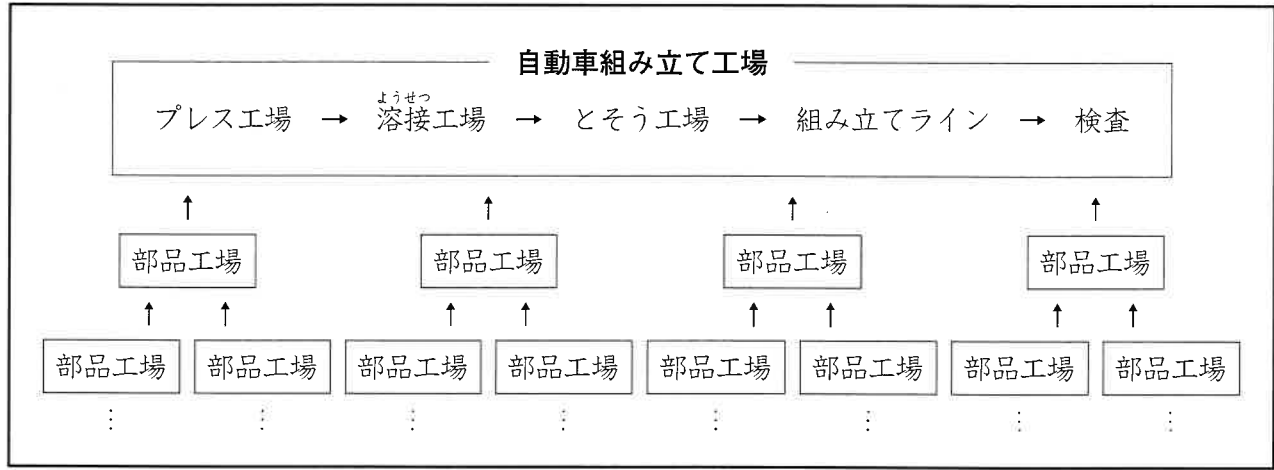
- ア 10トン未満の船を使い、定置あみや地引きあみを用いる漁法で、数ヶ月から1年ほどの長期間にわたって行われる漁業である。この漁業を示すのは資料⑨のグラフ㉞である。
- イ 赤道近くで生まれ、日本近くにやってきたかつおをとり、いけすで育てる漁業である。この漁業を示すのは資料⑨のグラフ㉕である。
- ウ かつおの群れとともに移動するため、何ヶ月も船に乗っていることがある漁業である。この漁業を示すのは資料⑨のグラフ㉔である。
- エ 最も遠くの海まで出かける漁業のため、各国が200海里水域を設定した影響を受けて、生産量が減少している。この漁業を示すのは資料⑨のグラフ㉖である。

(5) 次の資料⑩～⑪は、地図中Dの都市のある都道府県の特徴を示したものです。この資料⑩～⑪を見て、あとのア～エから正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。



- ア さとうきびの生産が盛んな理由は、気温や湿度が高い気候をいかしているからである。
- イ さとうきびの生産が盛んな理由は、強い台風が過ぎると、たおれてしまう心配もあるが、他の作物に比べて風に強く、曲がっても成長を続けるためである。
- ウ さとうきびを夏と春に分けて植えつける理由は、取り入れる時期が重ならないようにするためである。
- エ さとうきびは、夜も電灯を当てながら育てることによって、一年の中で出荷する時期を自由に決めることができる。

2 日本の自動車工業について、次の図を見て、あとの問いに答えなさい。



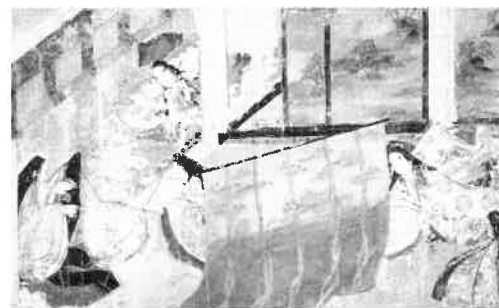
- (1) 大きな自動車組み立て工場で行われている工夫について説明している、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 車体のドアや屋根、ゆかなどの部品は、プレス機械などを使って鉄の板を折り曲げたり打ち抜いたりしてつくる。
- イ 車体の部品を電気の熱で溶かしてつなぎ合わせる溶接の作業は、火花が散って危険なので、多くの場合は人ではなくロボットが行うようになっている。
- ウ とそうは、車体のさびを防いだり、見ばえをよくするために、さまざまな色にぬり分けるが、お客さんの希望に合わせてちがった色をぬることもある。
- エ 組み立てラインでは、長いコンベアに乗せて、エンジンやタイヤ、シートなどを取りつけていくが、同じラインの上では、同じ種類の自動車しか扱わないことになっている。
- (2) 自動車1台に必要な部品は2万～3万個ほどあるといわれています。部品工場が、組み立て工場に部品をおさめるために行っている工夫について述べた、次のア～エからまちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。
- ア 組み立てに必要な部品は、時間通りにおさめないと組み立てラインが止まってしまうので、組み立てを行う時刻に合わせて送りどけなければならない。
- イ 部品工場では、小さな部品ばかり扱うので、機械を使わず、すべて手作業でつくられている。
- ウ シートのような部品を組み立て工場にまとめて出荷するときは、組み立て工場での車種の順番どおりにならべてトラックにのせ、工場に運び込む。
- エ 2011年に起こった東日本大震災では、東北地方の部品工場も被災したが、遠く九州地方の組み立て工場では、地震の影響がなく、組み立てが続けられた。

- (3) 組み立て工場で作成した自動車は、販売店まで運ばれます。自動車の運搬から販売について述べた、次のア～エからまちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。
- ア 組み立て工場の近くにあるお店や港までは、専門の運転手が完成品を運転してとどける。
- イ 港では自動車運搬の専用船を使って、国内外の港まで運ぶ。
- ウ 日本の自動車会社は、外国には必ず日本で組み立てた車だけを売っている。
- エ 自動車の値段には、生産にかかる費用のほか、運搬や宣伝にかかる費用も含まれている。

- (4) 最近の自動車は、乗る人のさまざまな願いに応じて、工夫が重ねられています。工夫について述べた次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 車いすに乗ったままでも乗車しやすいように、また、赤ちゃんのベビーカーをたたまなくても乗車できるように、車内を広くしたり、スロープを取りつけている。
- イ 前を走っている車との距離を感知して、近づけすぎないように自動で速度をおさえてくれるしくみを取りつけている。
- ウ 足にしょうがいのある人は運転できないことになっているので、助手席にだけ乗りやすいように座席を改良している。
- エ 運転や駐車がしやすいように、自動車を上から見ているような映像をうつし出す装置を取りつけている。
- (5) 最近では、地球環境に配慮した自動車の開発がさかんになり、また、製造工程でも環境に配慮することが多くなりました。そうした開発の現状について述べた、次のア～エからまちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。
- ア ガソリンを使わず、家庭用電源から電気を取り、電気モーターだけで走る自動車が開発され、実用化されている。
- イ 電気とガソリンを組み合わせて使う「ハイブリッドカー」は、ガソリンの消費をおさえて効率よく走ることができるもので、年々ふえている。
- ウ 工場から出る廃棄物もできるだけ少なくするように、製造工程で出る金属のくずなども金属を扱う会社買い取ってもらったりして、部品に再利用する取り組みが進んでいる。
- エ 使い終わった自動車の部品を資源としてリサイクルするしくみは、技術が遅れ、法律でも整っておらず、今のところほとんどの部品はリサイクルされていない。

3 次の(1)～(4)の**ア**～**エ**の資料を見て、それぞれが示す内容や最初につくられた**時代の古い順**に並びかえて、記号で答えなさい。

(1)



ア 源氏物語 (絵巻にしたもの)



イ 雪舟の描いた水墨画



ウ 葛飾北斎の富士山を描いた風景画



エ 南蛮貿易の様子を描いたびょうぶ絵

(2)



ア 京都の金閣



イ 奈良の法隆寺

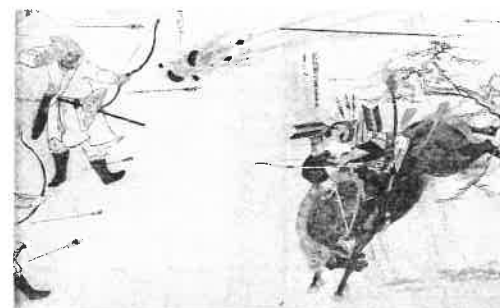


ウ 奈良・東大寺の大仏



エ 岩手・平泉の中尊寺金色堂

(3)



ア 元軍が日本で「てつほう」を用いた



イ 長崎に「出島」がつけられた

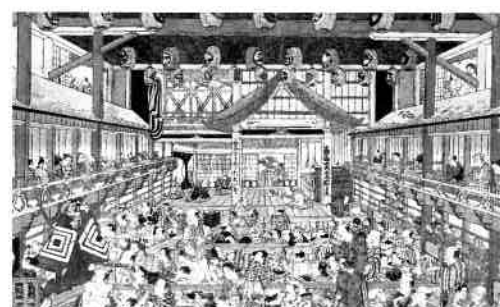


ウ 遣唐使船で航海した(写真は復元したもの)



エ 日本に火縄銃 (鉄砲) がつたえられた

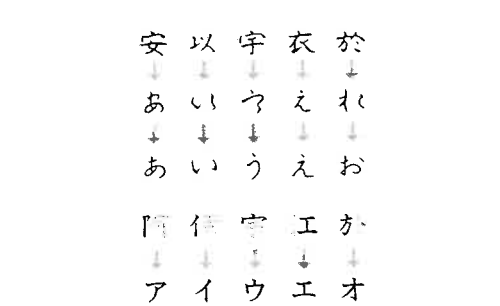
(4)



ア 歌舞伎が人々の娯楽としてひろまった



イ 能が世阿弥らによって大成された



ウ かな文字がつくられた



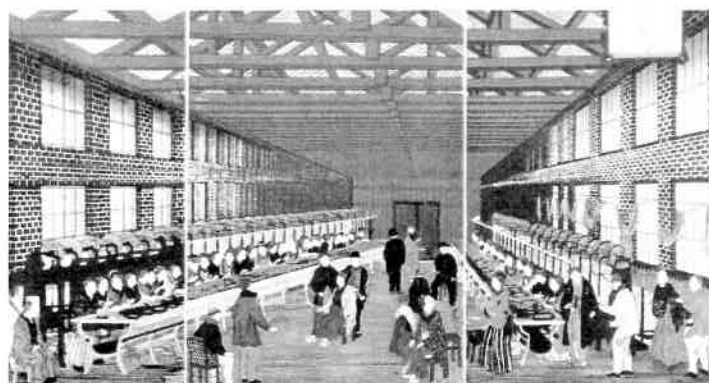
エ 正倉院に宝物がおさめられた

- 4 次の資料1～5の写真や絵は、明治から大正までの間に日本がどのように変わっていったのかを表したものです。竹子さんと早人くんのクラスでは資料を見ながら、話し合いをしました。会話文の中の下線部について、あとの問いに答えなさい。

資料1



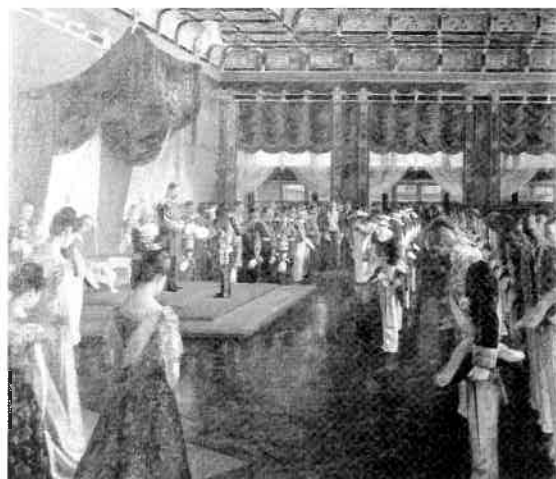
資料2



資料3



資料4



資料5



早人



資料1の絵は、①明治初めころの東京の様子だね。馬車が走ったり、ガス灯ができたりしています。

竹子



資料2の絵は、^{とみおかせいしじょう}富岡製糸場ね。この頃の政府は②西洋の国々に追いつくためにも、工業をさかんにして、強い軍隊をもつことに力を入れていたのね。



どうしてこのような変化がおきたのかな？ ^{えど}江戸の時代は鎖国をしていたのではなかったかな。



そうね、明治になると、社会のしくみが大きく変わったのね。資料3の絵は、西洋の国のように③政治に参加する権利を求める人々の様子を表しているのよ。



それに資料4の絵をみると、日本が、④憲法によって政治を進める国のかたちを整えた様子がわかるね。



でも身分制度が改められても、⑤差別され苦しめられてきた人々の運動が続いたのね。資料5の写真は、差別をなくすうったえをする少年の写真よ。



今の僕たちは⑥自分から政治に参加して物事を決めていくことができるけれど、それはあたりまえではなく、歴史を知るとどのようなできごとがあったのか、よくわかりました。



そうね、だから⑦日本国憲法ではいろいろな⑧権利を保障しているのね。今度の授業で、きょう学んだことをまとめて発表しようよ。

- (1) 会話文中の下線部①について、人々の暮らしや社会のしくみはどのように変わったのでしょうか。次のア～エから正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア すべての国民は平等であるとされ、職場や住む場所を自由に選べるようになった。しかし身分制度が改められた後も、^{てんのう}天皇の一族は皇族、^{こうぞく}公家や大名は華族、^{くげ}武士は士族、その他は平民という新しい形で身分のちがいは残された。

イ 人々の間に洋服を着る人や西洋風の髪型にする人が増え、牛肉やパンなども食べるようになり、^{おおさか}大阪～^{よこはま}横浜間に鉄道が開通したのもこのころである。

ウ 長い間差別に苦しめられてきた人々に対し、政府が生活を高めていく政策を行わなかったため、住む場所や結婚・就職などの差別もなくならなかった。これらの人々は「解放令」を機に自らの力で差別をなくしていくための努力を続けていった。

エ ^{はん}江戸時代の大名の領地である藩とその領民を天皇に返させ、その藩を1871年に廃止して新たに県や府を置き、各県には天皇によって任命された役人を送りこんだ。

(2) 会話文中の下線部②について、このような目的をたっせいするために、1871年に使節団がアメリカやヨーロッパの国々をおとずれ、政治のしくみや産業の様子を視察し、約2年間、近代的な政治制度や工業などを学んで帰国したが、次のア～カからその使節団に**加わらなかつた**人物を**すべて**選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-------|---|------|---|------|
| ア | 大久保利通 | イ | 木戸孝允 | ウ | 西郷隆盛 |
| エ | 岩倉具視 | オ | 伊藤博文 | カ | 板垣退助 |

(3) 会話文中の下線部③の運動をなんというか、解答用紙の「運動」につながるように、**漢字4字**で答えなさい。

(4) 次のア～オは、会話文中の下線部④の憲法にかかれた内容をのべたものです。正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

- ア 仏教をあつくうやまう。
イ 政治は、会議を開いて、みんなの意見を聞いて決める。
ウ 国民は法律に定められた範囲内で、意見などを出版し討論・演説できる自由を持つ。
エ 国会は、貴族院と衆議院からなり、衆議院議員だけが国民の選挙で選ばれる。
オ 兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたない。

(5) 次のア～エの文章は、資料3のころから資料4までの間におこったできごとについてのべたものです。正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 江戸時代の終わりに幕府が欧米諸国と結んだ「修好通商条約」は、日本にとって不利な内容だったので、条約の一部を改正して領事裁判権をなくすことに成功した。
イ 国民の中には、衆議院で多数の議院をもつ政党に内閣をつくらせるべきだ、という意見が強まっていった。その時の内閣が米騒動で退くと、大隈重信が本格的な政党内閣をつくった。
ウ 政府に意見書を出して、広く国民の意見を聞いて政治を行うべきだという主張は全国に広がり、ついに政府は国会を開くことを約束した。
エ 国民は税金の額に関係なく選挙権をもつべきだという考えから、25才以上の男子は、すべて衆議院議員の選挙権をもつという法律が定められた。

(6) 次のア～オの文章は、会話文中の下線部⑤についてのべたものです。正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

- ア 平塚らいてうは、「学問のすゝめ」という本で、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり」と書いて、人は生れながらにして平等であり、学問で身を立てていくべきだと主張した。
イ 政府は、地租改正法をつくって、政治や社会のしくみを変えようとする動きを取りしまった。
ウ 津田梅子は、「君死にたまふことなかれ」という題の詩をつくって、戦争に反対する強い気持ちを発表した。
エ 差別され苦しめられてきた人々は、全国水平社をつくり、差別をなくす運動に立ち上がった。
オ 野口英世は、足尾銅山の工場からでる有毒なけむりや廃水が農地を荒らし、農民の生活にも深くは影響がめだちはじめたので、政府に銅山の閉山を何度もうったえた。

(7) 会話文中の下線部⑥について、市町村議会や国会の議員になるために、選挙に立候補できる年齢はどのようになっていますか。次のア～エから正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 市町村議会では、市長や市議会議員に立候補できる年齢は、25才以上である。
イ 国会では、衆議院と参議院共に立候補できる年齢は、25才以上である。
ウ 市町村議会では、市長や市議会議員に立候補できる年齢は、20才以上である。
エ 国会では、衆議院と参議院共に立候補できる年齢は、30才以上である。

(8) 会話文中の下線部⑥について、国の政治の方向を決めるのが国会の重要な仕事です。現在の国会についてのべた次の文章の中で、ア～オの下線部で**まちがっているもの**を**すべて**選び、記号で答えなさい。

国会には、ア 衆議院と参議院という二つの話し合いの場があり、国民の生活にかかわる法律や政治をすすめるために必要な予算などについて、イ 議員による全員の意見が一致するやり方で決めています。法律をつくることは国会の大事な仕事で、このはたらきをウ 司法といいます。国会で話し合いをするのは、国民の代表者として選挙で選ばれた国会議員です。日本ではエ 20才以上のすべての国民に、政治に意見を示す権利が認められています。これをオ 選挙権といいます。

(9) 会話文中の下線部⑦について、日本国憲法では天皇はどのように定められていますか。次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本国憲法では、天皇を「日本国の象徴^{しょうちゆう}」と定めている。

イ 日本国憲法では、天皇は国の政治についての権限をいっさいもたない。

ウ 日本国憲法では、天皇は内閣の助言と承認^{しやうにん}にもとづいて、憲法で定められた仕事を行う。

エ 日本国憲法では、主権^{しゅけん}は天皇にあり、天皇が日本の国を治めることになっている。

(10) 会話文中の下線部⑦について、日本国憲法に定められている天皇のしごとには、どのようなものがありますか。次のア～オから正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 都道府県知事を任命する

イ 法律や条約を決める

ウ 内閣総理大臣^{そうり}を任命する

エ 外国と条約を結ぶ

オ 国会議員を承認する

(11) 会話文中の下線部⑧について、次のア～カは国民の権利と義務についてのべたものです。

まちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 働く人は団結して労働組合をつくることができる。

イ 仕事について働くことは、権利でもあり義務でもある。

ウ 学問は、自由に研究したり、発表したりすることができる。

エ わたくしたちは、健康で文化的な生活をおくることができる。

オ 税金をおさめていれば、選挙に参加することができる。

カ どんな人でも裁判を受けることができる。

受験番号

社 会

※印には何も書かないこと

1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

2

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

※

--

3

(1)	(2)
→ → →	→ → →

※

--

(3)	(4)
→ → →	→ → →

4

(1)	(2)	(3) (漢字 4 字で)	(4)	(5)

運動

※

--

(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)